

## 第4章 農業、鉱業を含めた産業廃棄物

### 第1節 農業

農業からの産業廃棄物は、関係部門の資料を基に畜産農業からの動物のふん尿及び施設園芸農業からの廃プラスチック類について調査を実施した。

その結果は表 4-1-1、表 4-1-2 のとおりである。

表 4-1-1 農業からの産業廃棄物

対象物	関連資料の出典等	排出量
動物のふん尿	*活動量：「都道府県別家畜・鶏飼養頭羽数」 （「日本統計年鑑」総務省統計局）による 「食鳥流通統計調査」 （農林水産省資料）による *ふん尿発生原単位：「堆肥化施設設計マニュアル」 （中央畜産会）による	943 千 t /年
農業系廃プラスチック類	*発生量：三重県農業用使用済プラスチック 適正処理推進協議会の調査による	348t/年

表 4-1-2 農業系廃プラスチック類

(t/年)

再生処理	埋立処理	焼却処理	その他	合計
215	98	35	0	348

### 第2節 鉱業

鉱業からの産業廃棄物については、標本調査により実施した。

鉱業からの発生量は、1,593 千 t となっている。種類別にみると汚泥が 1,437 千 t と全体の約 90% を占めている。（表 4-2-1）

表 4-2-1 鉱業からの産業廃棄物

(千t/年)

発生量	有償物量	排出量	減量化量
1,593 (100%)	54 (3%)	1,540 (97%)	1,202 (75%)

### 第3節 農業、鉱業を含めた総発生量

農業、鉱業を含めた産業廃棄物の総発生量は、9,322千tとなっている。

業種別種類の発生量は、表4-3-1に示すとおりである。

表4-3-1 農業、鉱業を含めた総発生量

(千t)

	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業 通信業	卸・小売業	サービス業	医療業	農業	鉱業	計
燃え殻	0	7	34	0		0				42
汚泥	86	1,899	548	73	3	104	0		1,437	4,149
廃油	0	106	0	7	2	1	0		53	170
廃酸	0	70	0	0	0	0	0			70
廃アルカリ	2	559	0	0	1	1	0			563
廃プラスチック類	25	94	0	6	6	7	3	0	0	141
紙くず	4	225	0	7	2	0	0			238
木くず	137	15	0	5	2	1	0			158
繊維くず	3	0		0	0	0				4
動・植物性残さ	0	35		0	13	1				48
ゴムくず	0	0	0				0		0	0
金属くず	102	347	1	1	9	3	0		1	463
ガラスくず等	32	214	0	3	0	1	0		77	327
鉱さい		86	0			0				86
がれき類	1,681	6	4	0		8			26	1,725
ばいじん		91	21							112
動物の糞尿								943		943
その他産業廃棄物	0	60	0	2	0	0	20		0	82
計	2,072	3,814	608	104	38	126	23	943	1,593	9,322

単位(千t)

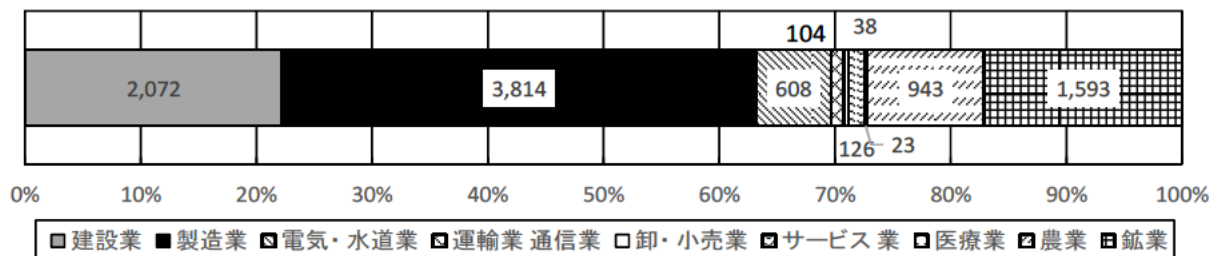


図4-3-2 産業廃棄物発生量の業種別割合

単位(千t)

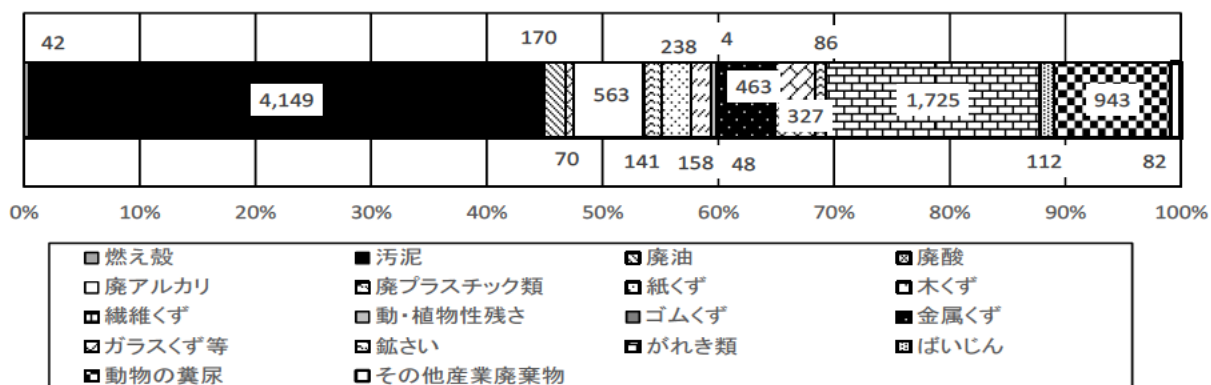


図4-3-3 産業廃棄物発生量の種類別割合